



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第25号

発行日
平成18年9月1日

◇ 目 次 ◇

P2 鷹ノ巣山高砲台跡清掃
P3 自然公園クリーンデイ
包ヶ浦海岸の清掃

P4 阿多田島観察会
P5 環境の日行事
観察会行事予定



サツマニシキ（マダラガ科ホタルガ亜科）

7月15日の包ヶ浦清掃作業のあと、数人のメンバーと入浜の池まで行き桟橋まで歩く途中、カギカズラの葉の上で羽を休めているサツマニシキを発見し、皆でじっくり観賞しました。

サツマニシキは最も美しい蛾の一つと言われており、幼虫はヤマモガシ（広島県準絶滅危惧種）を食草としています。

当日は梅雨の中休みのうだるような天気、午前中の作業疲れもあって快適な散策では、ありませんでしたが、

サツマニシキに出会えたことと、私たちの活動に理解のあるタクシーの運転手さんが、親切にして下さったことで疲れも吹っ飛びました。

写真の幼虫は6月初めに、成虫は7月終わりに両方ともヤマモガシに止まっているところを撮ったものです。

昨年10月の樹木名板取付け作業時にも見つけた方がおられ、宮島でしっかりいきづいているようです。

（写真・文） 前田 熊

鷹ノ巣高砲台跡清掃・整備 東側司令室跡への通路を開く

日時 5月20日(土) 9:00~15:00

(参加者) 足立 井上 岩崎 末原 坪井
中道 中本 名越 平山 前田(黙)
村上 森 柳瀬 矢吹 六重部
田中自然保護官

最初、週間天気予報によれば台風1号が熱帯低気圧に変わるとのこと、雨の予報だったが前日には回復すると予報が変わり、朝目覚めるとザーザー雨音・・外に出てみると西は曇り、東は明るい、降水確率30%で、悩むことしきり、しかしボランティアの連中は少々の雨なんかものともせずのつわもの揃いだと考えて出発。藤棚の下へ行くとやはり、



風雪に耐えた石組み構築物

降水確率など気にしない会員が多数。

このような天気で本当に大変だったのは、毎年かかさず、おいしい柏餅を作ってくださる末原夫妻だったでしょう。前夜から何十人分の柏餅を作り、作業用具を準備する手間は大変だったと思います。感謝、感謝。

作業は観測所への通路階段の落ち葉除去と、昨年来の欠落箇所補修、意外と状況は悪くなっているなかったものの、土のうに入れる土砂不足と雨のためドロドロの腐葉土袋となった。一方新しく発見した連隊長司令室跡への通路整備と100年以上放置されていた構築物をふさぐ雑木除去は、かなりの難作業。

それにしても長い間の風雨、地震、強烈な

日照りにも耐えてしっかり原型をとどめている石組み、レンガ造りの構築物には感心。

今回の清掃、整備作業で東側司令室跡への通路が確保されたことで次回の公募観察会には、一段と探訪範囲が広がり参加者に喜ばれることでしょう。(坪井 正明)



埋もれた通路の掘り起こし

懐かしの鉄道唱歌

宮島の
関係分

19♪ 己斐の松原 五日市
いつしか過ぎて巖島
鳥居を前にながめやる
宮島駅に着きにけり

20♪ 汽笛ならして客を待つ
汽船に乗れば15分
早くもここぞ市杵島
姫のまします宮どころ

21♪ 海にいでたる廻廊の
板を浮かべてさす汐に
うつる燈籠の火の影は
星か螢か漁火か

22♪ 毛利 元就 この島に
城をかまへて君の敵
陶 晴賢を誅せしは
のこす武臣の鑑なり



島内 4 コースに分かれ清掃

日時 8月 6日 (日) 9:00~12:00

(参加者) 足立 池田 井上 岩崎 小川
未原 高光 中本 名越 平田 平山
前田 (勲) 弁田 丸平 村上 柳瀬
矢吹 横山 横路 六重部 田中保護官

全国一斉の自然公園クリーンデイの行事として廿日市市、宮島を美しくする会の32名



作業開始前に説明を聞く

が参加し島内の清掃活動を行いました。

当会は市の職員と共に
* 西松原～大元公園～紅葉谷
* ウグイス道～紅葉谷公園
* 宮島桟橋～包ヶ浦 (新道)
* 同 (旧道)
の4コースのゴミ拾いと小なき
り海岸及び長浜海岸の清掃活動
を行い、150kgのゴミを収集し
ました。 (未原 義秋)

包ヶ浦海岸清掃の参加者

包ヶ浦海岸の清掃

日時 7月 15日 (土) 9:00~14:00

(参加者) 足立 池下 井上 岩崎
小川 新川 未原 高光 中本 平田
前田 (勲) 弁田 村上 柳瀬 矢吹
横山 横路 六重部 田中自然保護官

包ヶ浦海水浴場開きを前にして、綺麗な海岸にして、お客様を迎える楽しい海水浴をしてもらうために、今年度から新たな活動として実施しました。

当日は梅雨の中休みで、とりわけ厳しい暑さの中 19名が参加し、包ヶ浦奥の砂州を清



海から漂着したゴミが多い

掃し 630kg ものゴミを収集しました。参加の皆さんご苦労さんでした。 (未原 義秋)



初めて阿多田島を探訪

宮島の自然・植物との違いを体感

日時 6月10日(土) 9:30~16:00
 (参加者) 足立 池下 小方ペア 小川
 末原 中道 弁田 村上 森 柳瀬
 矢吹 横路 六重部

9:30 大竹の小方港からフェリーで9.5km先の阿多田島に向かいます。

35分間の船旅は、宮島の南側の景色を見ながら、初めての訪問にワクワクしている人、ずいぶん前に海水浴や釣りに来たことを懐かしむ人…それぞれ、おしゃべりが弾みます。

阿多田島は周囲12km、人口は127戸332人(18.4.1現在)。ハマチ、タイ、ヒラメの養殖が盛んな町です。海岸線近くまで山の急



国登録有形文化財「灯台資料館」

斜面が迫り、多くが港付近に住んでいます。

今日のテーマは「宮島の植物と比較してみよう」、島内約7kmをゆっくり散策します。

10時過ぎ、橋で繋がった猪子島からスタート。宮島では見かけない「ホソバイヌビワ」、美味しい赤黒い実は「クワ」、小さな黄色の花をつけた「ツルナ」もたくさんあります。民家を通り抜け山道には、イナバウアの「オカトラノオ」、「ネジキ」「ムラサキシキブ」「ハゼノキ」は花をつけ、「ワラビ」もまだ残っています。

11:40 予約をしていた「海の家あたた」は大変きれいな施設で、2人の管理人さんの暖かい迎えに、美味しいお弁当の花が咲きます。隣接の灯台資料館は旧安芸白石挂燈立標施設吏員退息所を保存整備した国登録有形文化財です。「ダンチク」が潮風にゆれ「タツナミソ

ウ」がひっそり咲いています。資料館下の浜辺は、戦時中、島の人総出でイワシを水揚げし茹でて乾燥させる作業場だったそうです。今は猪子島に、いりこ工場があります。

午後は残り約6kmの観察です。島内の道路には500本の桜が植えられていて、あれ!? 甘苦い顔をして口を真っ赤にしているのは…このサクランボを食べた人。そう! 観察は見るだけでなく、5感(視・聴・臭・味・触)プラス感動が大切なのです。外深浦の浜辺は砂浜植物「ハマヒルガオ」「ハマボッス」「ハマダイコン」「ハマエンドウ」どれもたくさん花をつけています。(下見の写真でミニ図鑑を作ってくださった中道さんに謝々!)。梅雨入り後の今日はとても暑く木陰の涼しさにホッとします。マント群落の「ティカカズラ」はつぼみだらけ。もうしばらくすると辺り一面甘い香りが漂うでしょう。

15:30 帰りの船は全員でふりかえります。宮島との違いはなに?

「ミミズバイ」「クロバイ」がない。「タイミンタチバナ」も少ない。大木や「モミ」を見なかった(山の木は生活に利用されていた)。「トベラ」「ビワ」「カクレミノ」広葉樹が多い。鹿がいないので草や「カンコ」の葉がのびのび育っているなど皆さんしっかり観察。自然と遊び、自然に元気をもらった一日でした。参加できなかった方、お薦めですよ。阿多田島。
 (弁田 祐子)



船着場での参加者

環境の日

日時 6月3日 11:30~12:00
場所 環境の日ひろしま大会会場

(中央公園：広島市中区)

(参加者) 野呂田 松尾

毎年恒例の県内最大の環境イベント「環境の日ひろしま大会」で、シカについての紙芝居を野呂田さんが、来場者に披露し、私もお手伝い（台紙の交換係）しました。

これは、村上会長が以前指導された広島大の大学院生のリクエストで出演したもので。会場のステージ前には約20数名の観覧者が座っています。司会の紹介の後、拍子木を鳴らして約15分間、野呂田さんがいつもの紙芝居を名調子で披露しました。

紙芝居の後には、PVの活動についてPRしました。いつもの観察会とは違った雰囲気でしたが、環境に興味があるという学生を中心になかなか好評だったということです。時には宮島以外の場所で、宮島のシカについてPRするのも良いことかなと思いました。

(松尾 健司)



野呂田さんの紙芝居説明

「みせん」次号発行予定

発行日 12月1日
原稿締切 10月末日

観察部会行事予定

- 自主観察会(海岸調査フォローを兼ねる)
9/10(日) 詰所 9:00 集合
担当幹事 小方・高光会員
コース 宮島桟橋～大砂利～青海苔浦
申し込み 大砂利まではタクシーを利用しますので、参加される方は9月6日までに前田(黙)に申し込んでください。
- 自主観察会(ハチクマの渡り他野鳥観察)
9/23(祝) 詰所 9:00 集合
担当幹事 小川・近藤会員
コース 弥山頂上往復
- 公募観察会(植物・歴史)
10/29(日) 9:00 包ヶ浦管理センター集合
担当幹事 中道会員
コース 包ヶ浦～鷹ノ巣砲台～包ヶ浦
下見 10/19(木) 同時刻、同場所集合
- 公募観察会(歴史・文化)
11/23(祝) 詰所 9:00 集合
担当幹事 佐藤・中道会員
コース 宮島桟橋～山辺の小径～大聖院～大元公園

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所
(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎2号館6階

TEL(082)223-7450・FAX(082)223-7451

宮島詰所

(〒739-0505) 廿日市市宮島町1862-18
(宮島桟橋2F)